



2019年9月1日発行
1947年10月27日
第3種郵便物認可
発行所/日本YMCA同盟
東京都新宿区本郷町2-11
THE YMCA神戸版
神戸YMCA
〒650-0001
神戸市中央区加納町2-7-11
Tel 078-241-7201
Fax 078-241-7479
www.kobeymca.org
発行人/井上真二
編集人/松森正樹
印刷/有わかばやし印刷

YMCA News



年間聖句

「命の泉はあなたにあり
あなたの光に、わたしたちは光を見る。」(詩編36編10節)

神戸YMCA大会、開催される

新しい試みとして、神戸YMCA大会が6月29日、「すべての人を一つにしてください」をテーマとして、神戸YMCA三宮会館で開催されました。

昨年度まで、総会は平日の夜に開催していましたが、学びと協議や会員相互の交わりの時間が十分に取れませんでした。そこで、総会実行委員会が協議を重ね、神戸YMCAに関わる人たちが一堂に会する日として、世代を超え、神戸YMCAの歩みを確かめ、将来に向け、語り合い、楽しく、喜びがあふれる一日とすることを願い、神戸YMCA大会として、3部構成で行いました。



秀平悠磨大会実行委員長

第1部～総会

新しい会員制度が承認されました

今回の総会の大きな議題は、会員制度検討の件でした。長年の懸案課題でありました「会員に関する規程の整備」について検討するため、会員制度検討委員会が設置されました。課題の整理がなされ、維持会員の増強と会員活動の活性化を目指し、協議が進められました。常議員会に答申され、この総会で新しい会員制度について説明しました。詳しくは改めて、会員の皆様にご案内をさせていただきますが、概要は以下の通りです。

- 1、会員の種類について
基本会員を廃止し、会員はすべて維持会員に一本化します。
- 2、会費について
一口5,000円とします。
- 3、家族登録について
基本会員を廃止することに伴い、家族登録制度も廃止します。
維持会員への移行を勧めます。

神戸YMCAの報告と方針・計画

2018年度の全般、各委員会の報告及び設置法人の報告がなされ、2019年度の方針と計画の説明がなされました。

ユースリーダーの委嘱がされました

ユースリーダーの委嘱も今年度は総会内で行われ、各リーダー会の代表が委嘱状を受け取りました。ユースリーダーの活躍と成長を総会に出席された会員の皆様と共に願いたいと思いを一つとすることが出来ました。

会員の表彰

会員の表彰などがなされました。以下の通りです。

【名誉会員の推挙】

会則第11条に基づき、常議員会で推挙されました。
草野修さん、岩田健司さん、大木素行さん

【ボランティア表彰】

ボランティアとして特に顕著な貢献をされました。
角野万里子さん、河野順さん

【日本YMCA同盟の表彰者】

日本YMCA同盟から表彰された方の紹介がされました。

50年継続賞

柳あつこ子さん、柳谷舟子さん、山本太郎さん、山口政紀さん

青少年奉仕賞

鈴木誠也さん、草野修さん、小泉啓子さん、渡邊守さん、
柳谷利起さん、中島甫さん

礼拝～命の光のゲンセン

日本キリスト教団三木教会の家山華子牧師からメッセージを頂きました。一年を振り返り、次の一年に向かう日に、私たちYMCAが目指すべき道を豊かに語って頂きました。



第2部～ユースによる活動発表

神戸YMCAの様々な領域に関わるユースからの発題を受け、各領域の働きを知るとともに、より良い運動につながるように考えるひと時でした。若い皆さんの発表を聞くだけでなく、世代を超えた議論が交わされ、貴重な機会でした。

【発表をしてくださった皆様】

こども園職員、専門学校日本語学科学生、One Camp参加ボランティア、ユースバスケットボールのボランティア・スタッフ、野外活動リーダー。
準備、当日の発表、ありがとうございました

第3部～まじわりと感謝のとき

大会に参加された方々の歓談のひと時でした。終始、和やかな雰囲気、この日を振り返り、それぞれの部で語りきれなかった思いを分かち合いました。最後は井上真二総主事からのメッセージで締めくくられました。

ハンドベル台湾演奏旅行

Ding Dong Ringers (ディンドンリンガーズ) は、2007年より隔年で台湾に訪問し、ハンドベルを通じて交流を続けてきました。7回目となる2019年は、8月2日(金)～8月5日(月)に屏東、高雄、彰化にてコンサートを開催しました。

台湾への渡航では、搭乗予定の飛行機が関西空港に来ないという珍しいアクシデントに見舞われました。別便での移動中に、神戸と台湾のYMCA間で迅速に連絡しあい現地移動手段を準備いただけ、その夜に屏東コンサートを無事開催できました。YMCAの高い危機対応力に救われました。

開催時刻が遅れたにも関わらず、会場では暖気十分な雰囲気を作り出して待ってくださり、到着直後に「さあ、演奏するぞ!」と気持ちのスイッチを入れることができました。また、先に到着していた井上総主事が会場で私たちを笑顔で迎えてくれた際には、嬉しかったと共にホッとした気持ちになりました。

高雄、彰化は前回に続いての訪問となり、現地YMCAの皆さんとの再会も今回の楽しみの一つでした。いずれの会場でも、熱心に演奏を聴いていただき、一曲毎に笑顔で拍手をいただき気持ちよく演奏ができました。

今回の演奏旅行に向けて練習に励んできましたが、練習時よりも本番のほうが良い演奏ができたと感じられました。その要因は、集中できただけでなく、台湾の皆さんの生の反応が私たちを上手にのせてくれたからかもしれません。これまで続いてきた台湾とのハンドベル交流が、Ding Dong Ringersを育ててくれているという思いに至りました。この交流は、神戸YMCA、台湾各地のYMCA、教会の皆様による多大なるご支援の上に成り立っています。ここに、厚く御礼申し上げます。

Ding Dong Ringers 石丸英嗣



「Ding Dong Ringersの台湾演奏旅行に同行して」

①高雄YMCAと神戸YMCAとの歴史的な関係

かつて会員であり、委員であった水谷英三さんが甲南女子大学の学生を中心に台湾に日本語集中講座の日本語講師派遣をしたことが契機となり、高雄YMCA創立20周年にちなんで1983年4月にパートナー締結を行いました。それ以来、定期的な交流があり、日本語教師派遣やスタッフ派遣、スタッフの研修受け入れなど様々な交流があり、その後も2003年の締結20周年、2013年の締結30周年に高雄を訪問し、再締結を行なっています。2015年の総主事就退任式にも理事が出席して下さり、2016年の日本台湾YMCA連絡委員会が台湾で開催された際、高雄YMCAの新会館お披露目の式典に私が出席しました。

②神戸YMCAベルクワイアーと台湾演奏旅行

1980年、神戸で初めて「神戸YMCA ベルクワイアー」を、1991年に「Ding Dong Ringers」をスタートさせました。その後、阿部望先生を中心としたベルクワイアーは関西だけではなく、世界のハンドベル関係者にも良く知られたグループとなっています。2006年、神戸YMCA創立120周年記念コンサートの時に出席していたPeter Changさん(今井鎮雄さんとも繋がり深い元高雄YMCA総主事、元台湾YMCA同盟総主事)の強い要請により台湾公演が実現し、2年おきにDing Dong Ringersの訪問が続き、今回の7回目で最後になるであろう(?)ということで同行させていただきました。

③演奏会の様子

台湾の最南端の屏東にある内埔教会の寄附講演を皮切りに、高雄、彰化の計3箇所教会にて開催されました。会場によって聴衆の皆様への反応も様々で、演奏と共にハミングされる方もいらっしゃる程の、一体感に包まれる事もしばしば。教会の環境、観客の様子、これら全体の雰囲気を瞬時に感じて柔軟にプロデュースする阿部望先生のタクト(指揮)、それを十二分に理解し奏でるリンガーズの高い技術に皆が体を揺らし一曲一曲聴き入りました。演奏ではリンガーが入れ替わり、曲と曲の間にはベルの並べ変えが必要なためその間に曲目を一曲ずつ紹介し、楽器や様々なベルの鳴らし方、持ち方、棒で叩く等のテクニックの説明もありました。また今回の演奏会では通訳の存在が重要な役割をもち、彰化の教会ではYMCA理事長のご高齢のお母さまが日本語通訳を担われ、このような各教会の万全の受け入れ態勢にも大変感銘を受けました。

アンコールの嵐は言うまでもありません。ラスト曲は「銀河鉄道999」。ベルの音は大喝采と共に教会の天高く舞い上がりました。

総主事 井上真二

第16回多文化共生のための国際理解教育・開発教育セミナー



8月5日(月)～6日(火)の2日間、JICA関西において、国際理解教育・開発教育に興味のある教員や学生を主な対象として、第16回多文化共生のための国際理解教育・開発教育セミナーが開催されました。

神戸YMCAは、神戸YMCA国際委員会委員長

ロニー・アレキサンダー先生(神戸大学大学院国際協力研究科・教授)を講師として、ねこのポーポキと一緒に平和、安全、安心を考える分科会を担当しました。参加者は、学校の先生、高校生、大学生、大学院生など。みんなで沢山のワークを体験し、平和、安心、安全について考え、それを捉えなおしながら、それでいてとても楽しい時間を過ごすことができました。

JCCCNC親善日系ユースプログラム

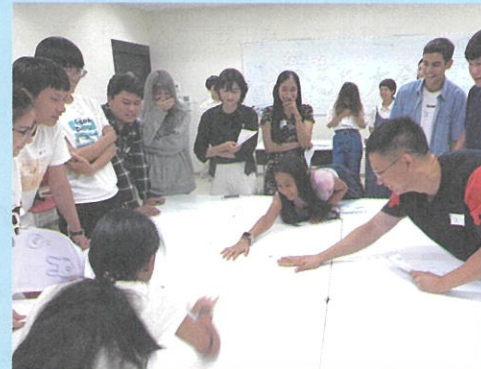


7月25日(木)～7月31日(水)、アメリカ・北カルフォルニア日本文化コミュニティセンターより親善バスケットボールチームとその関係者約100名が大阪と神戸を訪ねることを目的とし、来日しました。センターと神戸YMCAとの交流は、阪神・淡路大震災がきっかけとなり始まりました。今年は震災後25年の節目であることから、プログラムが行われました。神戸での3日間は、社会福祉法人明星寮長田子どもホームでの交流、人と未来防災センターでの震災学習、神戸市立御影中学校・神戸市立本山中学校のバスケットボール部の生徒たちとの親善試合、そして、ホームステイ体験をしました。様々な人たちとの交流を通して、日本文化に触れ合う機会となりました。

日本語夏期集中コース

7月8日(月)～8月2日(金)、40名ほどの外国人がYMCAで「日本語夏期集中コース」に参加し、日本語を学びました。1ヶ月の日本滞在期間中、学生たちは日本語だけではなく、様々な体験プログラムや交流イベントを通して、日本文化に触れ合いました。

その一つとして、日本人大学生ボランティアの協力を得て、「かるた大会」を行いました。参加した学生は初めて「かるた」に出会う学生がほとんどでした。まずみんなで文章や絵を自分たちで考えて、「かるた」を作りました。そして円になって、オリジナルの「かるた」を取りあいました。かるた大会は白熱し、笑い声が絶えませんでした。



スマイルフェスティバル



8月10日(土)、素晴らしい天候に恵まれ、ファミリーウエルネスセンターにて「第2回スマイルフェスティバル」が開催されました。普段プログラムに参加している子どもや、その家族、親戚、お友だちなど総勢300名の方が参加してくれました。人形つりやストラックアウト、スーパーボールすくいなど、様々なゲームコーナーは盛り上がりを見せ、滞りなく終えることができました。また来年の開催へ向けて準備をしていきます。そして9月でファミリーウエルネスセンターは開設して5周年を迎えます。これからも地域に根ざした活動をしていきたいと思えます。

西宮学童用海育成センター



西宮ランチでは、西宮市から指定管理を受けて3つの育成センター(学童保育施設)を運営しています。今年の夏は、初めての取り組みとして、3つのセンターの3年生が合同で1泊2日のキャンプに行ってきました。

家族のように毎日を過ごす"いつものメンバー"とは違う、新たな友だちやリーダーと、2日間自然の中で一緒に遊び、寝食を共にしました。キャンプ前に一度顔合わせはしているものの、やはり最初はどこかぎこちない様子がどのグループにも見られましたが、同じ時間を過ごすうちに、段々と会話や笑顔が増えていき、キャンプ中はもちろん、それぞれのセンターに戻ってからも、ひとりひとりがキラキラとした笑顔を見せてくれました。

普段はなかなか交流のない3センターですが、今回のキャンプを機に、さらに子どもたち同士の関わりを大切に、ひとつひとつの交流の機会を大切にしていきます。

太山寺児童館



太山寺児童館と小寺コーナーで、年2回合同で夏休みと春休みに遠足に出かけています。今年の夏休み遠足は、加古川市立少年自然の家に行きました。暑い中ではありましたが、子どもたちは自然の中で、のびのびと過ごすことが出来ました。遠足ではグループに分かれて、それぞれ水あそび、ボート、アスレチックを楽しみました。熱中症対策を兼ねての水あそびは、小さなプールに水をためて、子どもたちと一緒に水のかけあいっこをして楽しみました。暑い陽射しには、水がとても気持ちよくて、子どもたち同士で掛け合いっこをしては、「冷たくて気持ちいい!」と声があがっていました。ボートは、初めて乗る子どもたちも多く、ライフジャケット着用時から、ドキドキしていました。いざオールを持って、ボートに乗り込みます。子どもたち自ら「いち、に」と声を合わせ、前に進むことが出来ました。ボートで競争をしたり、1番速くまで漕いでみたり、それぞれのグループで初めてのボートを楽しみました。暑い夏ではありましたが、子どもたちはとても楽しい遠足となりました。

地区体育館便り(垂水体育館)



垂水区では総合型地域スポーツクラブの活動が活発に行われ、体育館ではその支援も重要な貢献活動です。様々なイベントの企画・運営や各校区の情報共有などを行う「垂水区連絡協議会」は年間12回行われ、神戸市の区の中では最多となっています。

具体的に、近隣の小学校の水上安全、救命講習はもちろん、親子特別授業(ニュースポーツ体験)も恒例となっています。また、幼稚園、保育園の体育指導、さらに教員対象の指導者のための指導講習会も行っています。

毎年10月には「たるみ健康いきいきウォーク」という大きなイベントを実施し、区役所・区体協・スポーツ推進委員の方々、地元企業や近隣大学、ウォーキング協会など様々な方々と連携・協力をしながら開催しています。

多くの方に親しまれる体育館として今後もその繋がりを大切に、互いによりよくなっていくような運営と地域を目指していきたいと思えます。

シリーズ こくさいのまど 65



夏の1ヶ月間、YMCAで日本語を勉強している韓国からの留学生が、ホームビジットプログラムとして私の家に遊びに来てくれました。大阪のお好み焼きと、韓国の巻き寿司、キンパを一緒に作りました。日本のスーパーで買える材料で本格的に仕上がることに驚きました。お互いの国の食文化について話しながら、教えあって一緒に作った昼ご飯はとても美味しかったです。

私がこのプログラムに参加した理由は、私自身の海外でのホームステイ経験がとてもいい思い出になったことから、日本に来る外国人の方々にも経験してもらい、より日本に興味を持つきっかけにして欲しいと思うからです。現地の一般家庭に入って感じるものは、観光地から学ぶものとは違い新鮮で、そこから新しい人間関係も広がります。また、特に日本語を勉強する学生には、より日本を好きになってもらって、勉強のモチベーションになれば良いです。これからも、身近な場での国際交流の機会を積極的に作り、お互いのきっかけ作りができれば嬉しいです。

ホストファミリー 山下萌菜



灯台

Light House

No.24

総主事 井上真二



「スポーツの秋その2」

この秋に開催されるラグビーワールドカップ、2020年の東京オリンピック・パラリンピック、そして2021年の関西ワールドマスターズゲームズと、3年間連続の一大スポーツイベント(ゴールデン・スポーツイヤーズ)が始まります。ラグビーW杯では神戸で4試合が開催されます。ワールドマスターズゲームズは、概ね30歳以上のスポーツ愛好者なら誰でも参加できる大会で、「関西」が会場となり、井戸敏三兵庫県知事も水泳に出場されるそうです。スポーツボランティアも市民権を得て、「みる」「ささえる」「する」のどれにでも私たちは参画することができる時代となりました。と同時に、「スポーツ・インテグリティ」という言葉を目にするようになりました。レスリングのパワハラ、アメフトの悪質タックル、ボクシングの会長問題、学校教育における部活動での旧態依然とした指導や、最近では高校野球甲子園大会予選でのエース投手の体調を優先して登板させなかったことへの物議等々、話題はつきません。スポーツ・インテグリティとは、勝利至上主義だけを追い求めるのではなく、スポーツの高潔性、誠実性、健全性を大切に考えて欲しいということです。

YMCAでは、一人ひとりの健やかな心と身体を育み、命を守ることの大切さをプログラムの中で体験する機会を大切に考えており、YMCAのユーススポーツには、以下の5つのGoalがあります。

- ・Fun(結果だけでなく、楽しむこと)
- ・Fitness(自由な身体的表現を学ぶこと)
- ・Skill(技術指導を通して達成感や満足感を得ること)
- ・Fair Play(ゲームに関わる全ての人に思いやりを持って接すること)
- ・Value(多様な価値観の他者を受け入れ、自分自身も受け入れてもらう体験を積み上げること)

スポーツの秋、共に考えてみたいと思います。

第22回 神戸YMCA インターナショナル・チャリティーラン2019

「あなたが走るとハッピーになる子どもが増えます。」



神戸YMCAチャリティーランは、今年で22回目を迎えます。多くの参加者やボランティア、協賛企業の方々に支えられています。

ここで集まった支援金で、「障がいのある子どもたちが、YMCAの夏のキャンプに参加できるように!」との願いから始められました。

今年も兵庫県出身でもあり、北京オリンピック女子5000m代表の小林祐梨子さんをお招きし、子どもたちと時間を共に過ごして頂きます。ぜひ、みんなの力を!!

ご支援をお願い致します。

日時:2019年11月4日(月・祝)

会場:しあわせの村(運動広場およびジョギングコース)

日本宝くじ協会より集会用テントのご寄贈



地域の子どもたちやご家族、また地域活動に役立つことができるようにと、一般財団法人日本宝くじ協会が行なっている公益法人等が行なう公益事業への助成により、集会用テント4張を神戸YMCAに寄贈されました。YMCAの各拠点やその周辺での地域活動の際に有効に活用させていただきます。心より感謝申し上げます。



感謝・寄附

(敬称略、順不同)(前号掲載以降~7/31現在)

寄附・献金

熊谷親啓・熊谷郁子、陽川菜未、山内睦、堀陽平、高畑貴幸、辰巳穰治、木之下博樹、辻沙喜子、上田睦紘、馬場貴英、日比貴史、山本彩、藤橋武・藤橋麻理子、有住翔、美崎晋、石井英行、尾上尚司、藤原唯希、廣川陽祐、柳あつ子、青柳美和子、冨田優、中西知子、恵谷舞、笠井香里、佐々木貴子、中正法、相原健志、山本常雄、平山和代、八代田航遥
西宮ワイズメンズクラブ、宝塚ワイズメンズクラブ、
芦屋ワイズメンズクラブ、神戸YMCAベルクワイアー(阿部望)、
株式会社上組

この他にも、国際協力募金、東日本震災復興募金等、多数の募金をいただいております。感謝をもってご報告します。

個人消息

異動

間勝也(ファミリーウエルネスセンター所長)
→ウエルネスセンター学園都市所長(兼務)
小寺隆志(西神戸ランチ所長)→ファミリーウエルネスセンター副所長(兼務)
平吉恵子(ウエルネスセンター学園都市)→本部事務局

◆赤ちゃん誕生おめでとうございます◆

本田陽人さん(垂水体育館)に、7/10長男陽一くんが誕生しました。

ファミリーウエルネスセンター	☎078(241)7202	西神南YMCA	☎078(993)1560
ランゲージセンター	☎078(241)7204	須磨YMCA	☎078(734)0183
専門学校	☎078(241)7203	YMCA保育園	☎078(794)3901
西宮YMCA	☎0798(35)5987	西宮YMCA保育園	☎0798(35)5992
余島野外活動センター	☎0879(62)2241	西神戸YMCA保育園	☎078(792)1011
デイキャンプ&コミュニティサービス(兼キャンプ事務局)	☎078(241)7216	神戸学園都市YMCAこども園	☎078(791)2955
国際・奉仕センター	☎078(241)7204	神戸YMCAちとせ幼稚園	☎078(732)3542
ウエルネスセンター学園都市	☎078(793)7401	YMCAちとせ保育ルーム	☎078(786)3821
西神戸YMCA	☎078(793)7402	西神戸YMCA幼稚園	☎078(997)7705
神戸YMCA高等学院	☎078(793)7435	西宮つとがわYMCA保育園	☎0798(26)1016
YMCAおひさま	☎078(793)9077	あかしこども広場	☎078(918)6355

